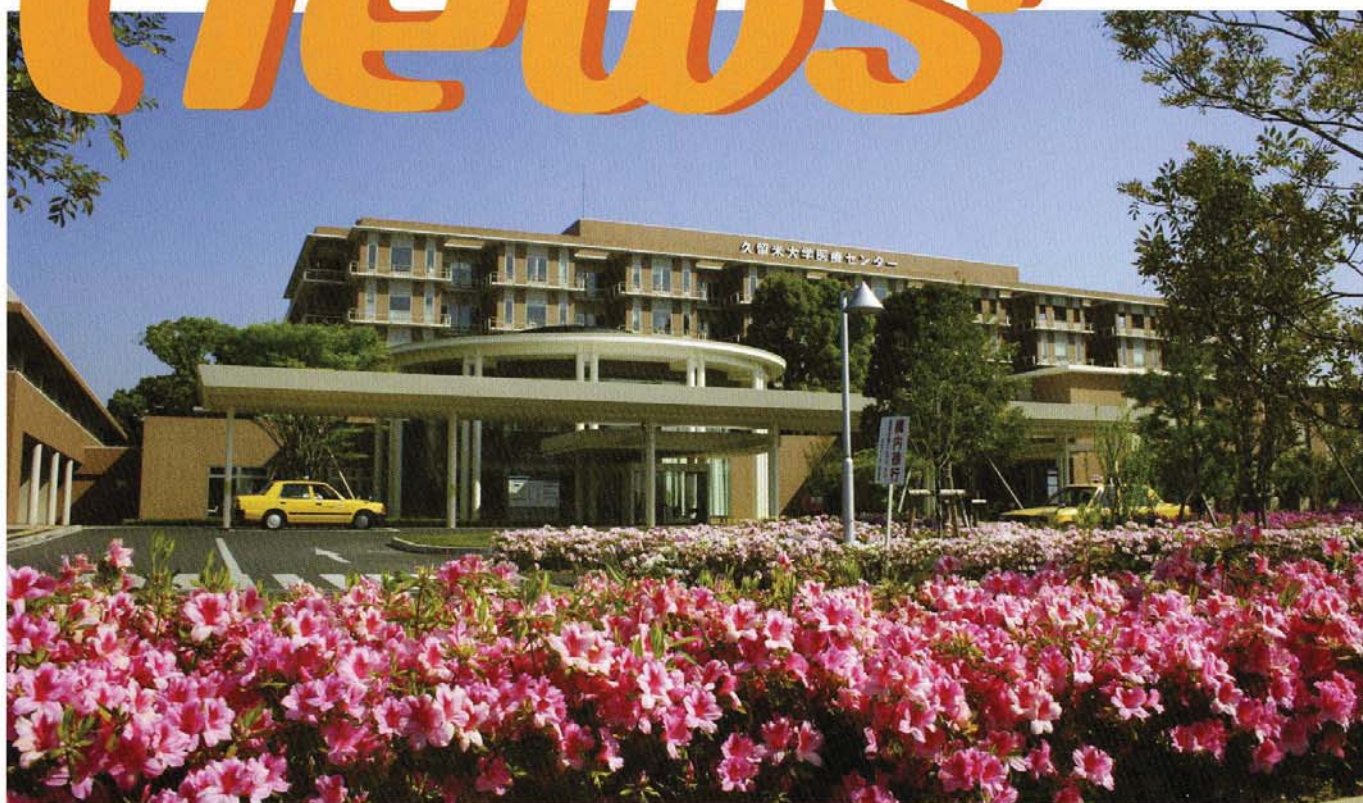


Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

2009.05
No.011

News



私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 十分な説明と同意のもとに、最新で安全な医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

〈久留米大学医療センターホームページ〉

<http://iryo.kurume-u.ac.jp/>

Contents

- 病院長挨拶
- 先進漢方治療外来について
- がんワクチンについて
- ボランティア活動について
- 病院機能評価認定証受理

今年4月から昨年度に引き続き病院長をつとめることになりました。

今年度からの病院長就任には特別な意義があります。今回より医療センター病院長選出は選挙が導入された事です。任期も従来の1年から2年になりました。この事実はとりもなおさず、皆様方の1票の重みを感じながら運営にあたらねばならないことを意味します。民主的な方法で選出されたのですから、ますます職員の皆さんと手を携えて、一緒にクオリティーの高い医療センターの運営を行いたいと思います。



わたくしが病院長に就任して以来、医療センターは「チーム医療センター」を掲げてまいりました。病院のあらゆる職域がひとつのチームとなることによって、受診、入院の患者さんにクオリティーの高いトータルケアができるようにと願ったためです。4月からの新年度も引き続きこの旗印のもとに、チーム医療を目指したいと思っています。

筑後地域の病院および病床数は全国的にみても密度の濃い地域です。そのなかで300床の病院を効率よく運営していくには、ガリバーの様な総合病院を小さくしたミニチュアでは患者さんのニーズに答えられません。そこで病院運営の方針は「小さな総合病院より特色のある病院」とします。

昨年度稼働に入った、「整形外科・関節外科センター」をはじめ、本年度から診療をはじめている「先進漢方治療外来」、「がんワクチン外来」などがこれにあたります。従来からの診療科も持ち味を発揮し、特色のある診療科作りを行ってまいります。

全職員が一丸と成って取り組んだ病院機能評価の許可を平成21年2月16日付で受けました。今後とも病院長として全職員の皆さんが十分に力を発揮できる様な体制作りを目指しますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。



先進漢方治療外来紹介

准教授 恵紙 英昭

平成21年4月1日付で久留米大学医学部内に先進漢方医学講座 (Department of Innovative Kampo Medicine) が開設され、診療は久留米大学医療センターの先進漢方治療外来で行っています。西洋医学のみならず漢方を専門に研修した医師が、他科との連携にて西洋医学的診断を行った後に東洋医学的診断法 (脈診・腹診・舌診など) を取り入れて漢方薬を選択します。現在は服用が簡便なエキス剤を処方しており、いずれも保険が適応していますので、経済的負担が少なく漢方専門医の診療を受けられます。



左から佐野、藤本、八木、恵紙

<対象疾患>

さまざまな疾患に対して、西洋医学的診断を行った後に東洋医学的治療を行います。

☆精神科関連疾患 (うつ状態、不安、動悸、イライラ、不眠、不登校、自律神経失調症といわれる症状など)

☆小児関連疾患 (疳の虫、風邪をひきやすい、お腹を痛がる虚弱児、夜尿症、夜泣きなど)

☆消化器疾患 (食欲不振、機能性胃腸症、胃腸障害で腹痛・下痢・便秘など、痔など)

☆呼吸器疾患 (かぜ症候群、咳、痰など)

☆産婦人科関連疾患 (月経不順、月経痛、更年期の症状、不妊、習慣性流産など)

☆耳鼻科疾患 (鼻炎、めまい、ふらつき、のどの痞えなど)

☆緩和ケア関連疾患 (がんによる全身倦怠感や吐気などの体の不調、体力低下など)

☆疼痛性疾患 (リウマチなどの膠原病の痛み、神経痛や歯痛や西洋医学で制御できない痛みなど)

☆老化に関する疾患 (膝関節痛、しびれ、かすみ目、認知症など)

☆泌尿器科疾患 (頻尿、慢性膀胱炎、前立腺肥大症など)

☆アレルギー疾患 (アトピー性皮膚炎、喘息、花粉症、じんま疹など)

☆その他 (頻尿、冷え症、手足のほてり、体力低下、にきび、頭痛、肩こり、むくみや肥満など)

などを対象とします。

薬物療法は、患者さんの病態に応じて、「漢方薬のみ」と「西洋薬と漢方薬の併用」を選択して行います。また西洋薬で副作用が強い場合なども、漢方薬でその副作用を和らげ、疾患によっては西洋薬を減量したり漢方薬に置き換えることも可能です。

<診療時間と担当医> 午前中のみです。

	月	火	水	木	金
午 前	漢方精神科 漢方内科	漢方精神科 漢方内科 漢方産婦人科*	漢方精神科 漢方内科	漢方内科 漢方小児科	漢方内科
担当医	えがみ 恵紙 英昭	えがみ 恵紙 英昭 ふじもと 藤本 剛史*	えがみ 恵紙 英昭	やぎ 八木 実	さの 佐野 智美

<日本東洋医学会専門医取得のための研修施設>

平成21年4月1日より日本東洋医学会専門医取得のための研修施設として認定されました。日本東洋医学会の専門医と指導医は、専門医および指導医1名、非常勤で指導医1名が診療にあたります。

“ヒトは免疫力でがんをどこまで治せるか”という疑問を皆様はお持ちではないでしょうか？ また同時に最近の医学の進歩によって“がん”は不治の病から治せる病、また共存して長生きできる病、と徐々ではありますが変わりつつあります。

まずは ～免疫力とがん～ について少し触れたいと思います。我々は最新の検査をもってしても1cm程度のがんを診断するのがやっとです。この1cmのがんの塊の中にどれだけのがん細胞が詰まっているかご存じですか？ 実は100,000,000個(=1億)のがん細胞が存在しています。僅か1個のがん細胞から始まってこのくらいの数になって初めて我々のがんがあると診断できるのです。それまでの間、例えばがん細胞の数が100個や1000個のときに自らの免疫機能が退治してくれれば、我々は“がんはありません！”と胸を張れるわけです。そもそもがんに対する免疫機能とはこういうものを指します。しかしながら、何らかの要因でがん細胞の増殖を止められなかった場合に“がんが出来た”といいますが、このときでも多勢に無勢ながら免疫力はがんの増殖を少しでも抑えようと頑張っているのです。がんを抑えようとする免疫力にはどのようなものがあるのでしょうか？ 主なものにNK(ナチュラルキラー)細胞という何でも異物は攻撃する、という細胞と、Tリンパ球という専門的に教育され、がん細胞だけを特異的に攻撃する細胞があります。



～がんワクチンとは～

ワクチンとは？という問いに、皆様は“予め接種して免疫力を増強させるもの”という認識をお持ちのことと思います。インフルエンザワクチンなど一般的に接種されるものは「予防ワクチン」と呼ばれています。これに対して、免疫力を増強されることについては同じですが、これをがん治療に使おうという意味で我々が行うワクチンは「治療ワクチン」の範疇に入ります。

我々が行っているがんワクチンは9～10個のアミノ酸からなる、いわゆるペプチドとよばれる極小さな蛋白をアジュバンドと云われる油成分に溶かして皮下に投与します。投与を受けた身体の免疫力がこれに刺激されて、がんを抑えるTリンパ球を多く産生させたり、活性化させたりして結果的にがんの発育を抑制する、というものです。

有害事象(副作用)はワクチンを打った局所(皮膚)が赤くなったり硬くなったりする程度で、熱が出たり吐き気が出たりすることはまずありません。(今までに500例以上の投与経験があり、ワクチン投与は安全だと判定されています。)

ここまで読まれた方の中には、“副作用もさほどないし、なんて素晴らしいんだろう”と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、ワクチン単独での治療効果(がんを小さくする効果)は一部のがん種を除いてあまり期待できません。しかし、“がんは小さくならずとも、今までの治療より長く生きていられる”という結果は複数のがん種でみられています。

当院では4月よりワクチン療法を希望される患者さまのうち、消化器がんの方を対象に、「がんワクチン外来」を開設致しました。一日に診療出来る患者様はごく限られており完全予約制(大学で一括して受付)にて行っております。

開始当初より全国から多くの申込が殺到し、一時的に受付をお断りする事態が発生し、皆様にはご迷惑お掛けしておりますが、何卒ご理解賜りますようお願い致します。

ボランティア活動について

久留米大学医療センターではボランティア活動の一環として、患者さんの院内での待ち時間や移動中に、ささやかな癒しを提供するため、近隣幼稚園のご協力の元、1月から2月にかけて園児さんの絵を掲示いたしました。

1月13日～1月31日までを国分幼稚園の園児さん、2月2日から2月16日にかけて正福寺幼稚園の園児さんによる絵画を掲示いたしました。

医療センターにお見えになる方々に少しでも心休まるひと時を提供できたのではないかと思います。

今後もこのような取り組みを続けて生きたいと考えていますので、ご協力していただける幼稚園等がありましたら下記までご連絡下さい。

また、患者さんの案内などのボランティア活動をしていただける方の募集も継続して行っております。皆様のあたたかい笑顔をお待ちしています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

医療センター管理課 0942-22-6111 (代表)



病院機能評価認定証受理

久留米大学医療センターは、第三者評価機関である(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の審査を受け、2009年2月16日付で【病院機能評価認定証】を受理いたしました。

病院等の医療機関は、患者さんのニーズを踏まえつつ、質の高い医療を提供していくための努力が必要とされていますが、第三者による病院機能評価を受けることにより、改善すべき点をより客観的に把握し、効果的な医療サービスの向上につなげることができます。

今回、(財)日本医療機能評価機構によって認定を受けたことにより、久留米大学医療センターの医療の質が一定水準であるということが保障されましたが、医療センターでは評価内容を真摯に受け止め、今後もさらなる医療の質の向上とサービスの充実に努めてまいります。



日本医療機能評価機構

今後もさらなる医療の質の向上

外来診療一覽

平成21年4月23日現在

診療科名	月	火	水	木	金
一般内科	工藤まいさ	打和 大幹	中村 実生	松岡 昌信 (リウマチ膠原病センター)	橋本 修
呼吸器科 (午前) (午後)		中尾 栄男			松本 久美
消化器科	工藤まいさ 原田和徳	田中 正俊 橋本 行修	由谷 茂 原田 和徳	田中 正俊 工藤まいさ	橋本 修 倉岡 圭
循環器科	池田久雄 原田晴仁 中村実生	池田久雄 加藤宏司 打和 大幹	池田久雄 加藤宏司 中村 実生	原田晴仁 加藤宏司 森田博彦	原田晴仁 森田博彦 打和 大幹
精神科	近間 浩史	近間 浩史		近間 浩史	近間 浩史
小児科	伊藤 雄平 柿元 紀子	牛島 高介 柿元 紀子	伊藤 雄平 柿元 紀子	牛島 高介 柿元 紀子	伊藤 雄平 牛島 高介 柿元 紀子
(専門外来)	腎 臓	腎 臓 内 分 泌	腎 臓	アトピー 消化器・肝 臓	腎 臓 小児成人病
外 科	村上 直孝 緒方 裕	笹 富 輝 男 内 田 信 治 肝 胆 脾	矢原 敏郎 (乳腺外来) 五反田 幸人 緒方 裕	山口 倫 村上 英嗣 山口 圭三	矢原 敏郎 村上 直孝 内 田 信 治 肝 胆 脾
整形外科 関節外科センター (午前) (午後予約紹介のみ)	樋口富士男 石橋裕美子 下山十喜子 (午後) 鈴木 康一 (第2、4)	大川 孝浩 久米 慎一郎 吉田 史郎 (午後) 後藤 昌史 (14:00~16:00で専門外来のみ) 吉田 史郎	樋口富士男 後藤 昌史 石橋裕美子	大川 孝浩 久米 慎一郎 (午後) 大川 孝浩 (第1、3の午後のみ予約制) 後藤 昌史 (14:00~16:00で専門外来のみ) 久米 慎一郎 (第1、3、4、5) 稗田 寛 (第2)	樋口富士男 下山十喜子 山中 健輔 (第2、4)
リウマチ・ 膠原病センター	福田 孝昭 松岡 昌信	福田 孝昭 本多 靖洋	本多 靖洋 鮎川 竜祐	福田 孝昭 矢野 真弓 松岡 昌信 (一般内科)	福田 孝昭 本多 靖洋
リハビリテーション科	松瀬 博夫	篠崎 夏子 (午後) 志波 直人 (午後のみ、予約制)	馬場 敦子	柳 東次郎 (第2、4) 松瀬 博夫 (第1、3、5)	馬場 敦子
皮 膚 科	御厨 賢	御厨 賢	御厨 賢	御厨 賢 アトピー外来予約制	交代医
泌尿器科	江口 善朗	江口 善朗	名切 信	名切 信	江口 善朗
産婦人科	園田 重則	園田 重則	園田 重則	園田 重則	園田 重則
眼	渡邊 志穂	渡邊 志穂	渡邊 志穂 斜視外来 午前・午後 松永 次郎	渡邊 志穂 斜視外来 午後のみ 松永 次郎	渡邊 志穂
耳鼻咽喉科	池園 圭子	池園 圭子	池園 圭子	池園 圭子	池園 圭子
放射線科	小島 和行	(画像診断)			
麻酔科		入江 将之		入江 将之	入江 将之
ガンワクチン	山中 龍也	由谷 茂	山中 龍也	由谷 茂 山中 龍也	由谷 茂 (肝炎ワクチン)
先進漢方治療 (午前のみ)	恵紙 英昭	恵紙 英昭 藤本 剛史	恵紙 英昭	八木 実	佐野 智美

受付時間：午前8時30分～午前11時迄 診療日：月～金 休診日：土・日・祭日・年末・年始(12/29~1/3)・盆休(8/15)

編集後記

冬の寒さも足早に通り過ぎ、柔らかい風が吹く季節になりました。皆様お体の調子はいかがでしょう。張り切って薄着をして、風邪をひいてはいませんか？今年例年よりも花粉が飛んでいるようです。マスクが手放せない毎日ですね。

4月から医療センターにも、各職種に新しいメンバーが加わりました。不慣れな点から、皆様にご迷惑をおかけすることもあると思います。しかし、皆様の地域医療に貢献させていただくため、職員一同心を一つに、努力を惜しまぬ所存です。今年度も宜しくお願いいたします。(Y.H)